

\*\*\*\*\*  
開講科目名：国際政治学研究（A）（2単位）  
開設年次：1年 2年  
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻  
担当者：定形 衛  
\*\*\*\*\*

## 《授業の概要》

### 【授業の目標】

本講義では、国際政治をその歴史的側面と理論的側面の双方から考察することを主たる目標としたい。国際政治の歴史的な展開としては19世紀後半以降の「帝国主義時代」の外交から今日のグローバル時代にいたる外交を概観するとともに、その時々々の外交のあり様、およびそれに批判的であった国際政治の理論的潮流を検討していくことをめざす。その際、欧米諸国を中心とした大国外交の側面から概観するのみでなく、植民地化、帝国主義化の標的となったアジア・アフリカ諸国からみた国際政治、具体的には諸国の独立解放運動、国際社会への異議申し立てと参入など世界史的な観点からの国際政治の展開と理論状況を動態的に認識することを目指していくことにしたい。

### 【授業の概要】

国際政治の史的展開としては、欧米列強による帝国主義外交の展開から第一次世界大戦の勃発から説き起こし、国際政治の構造変動と世界大戦の歴史的意義を考察する。その後「危機の二十年」とよばれる戦間期の国際政治と第二次世界大戦の国際政治過程を論じ、冷戦の開始と核時代の国際政治とアジア・アフリカ諸国の国際政治への参入とこれら諸国のはたした国際政治的意義を再考していく。そして冷戦後から今日のグローバル時代の国際政治の意味と国際政治の現段階をいかに認識していくかについて考察を深めていきたい。

### 【授業計画】

1. ウェストファリア体制の動揺と列強の帝国主義外交
2. 第一次世界大戦の勃発と国際政治の構造変動
3. 戦間期の国際政治における国際政治のイデオロギー化
4. 第二次世界大戦の意味と核時代の国際政治への転換
5. 冷戦期における「戦争と平和」の理論的考察
6. 米ソ冷戦とアジア・アフリカ諸国台頭の歴史的意義
7. ベトナム戦争・中東戦争と国際政治の構造変動
8. 覇権追求の国際政治と相互依存の国際政治のはざまで
9. ヨーロッパ統合の進展と国際政治のあらたな展開
10. ソ連・東欧諸国の政治変動と社会主義外交の変容
11. 冷戦の終焉の世界史的意味と国際政治の変動
12. 冷戦後の紛争と国際社会介入の論理
13. グローバル時代の国際政治と「戦争と平和」の諸相
14. 「テロ後」の国際政治と国際政治の新たな展開
15. 現代国際政治の歴史的意味と理論認識の現状

### 【評価方法】

毎回の授業内容と議論についての小レポートの提出を課するとともに、教員と受講者の相互討論などを加味して総合的に評価する。

## 《テキスト》

特に指定しない。

## 《参考書》

授業時に適宜指示する。

